

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理		取組項目	文化財等保存修理
節				
事業(施策)名	11 史跡の保存・整備		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～H34		関連団体	県文化行政課、佐渡市社会教育課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○ 国史跡「佐渡金銀山遺跡」の保存活用計画や調査研究に基づく国史跡の修理や整備事業を推進し、構成資産の保全を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○ 文化庁や専門家の指導のもと、長期的な視点に立った保存・整備計画を策定し、構成資産の価値を保護するための適切な保存や整備を行う。</p>			
事業実績	<p>【事業成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 史跡指定地内における各物件の現況を把握し、今後事業を進めるうえでの事業内容や保存修理の優先順位を検討した。 ● 佐渡奉行所整備基本計画の策定に向けて、専門家会議において専門家の指導を仰ぐとともに、関係機関との調整を行った。 			
今後の取組・課題	<p>【課題】</p> <p>■ 史跡指定地が広範囲にわたり、その内容も多岐にわたることから、事業を精査の上、優先順位を付けて事業を進める必要がある。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>■ 史跡整備基本計画の見直しを図るほか、史跡指定地内の歴史的建造物の現況調査を行い、修理計画を策定する。</p>			
事業評価	<p>【事業の達成度】 [a (b) c]</p> <p>【事業実施の効果】 [a (b) c]</p> <p>【総合評価】 [A (B) C]</p> <p>◇ 平成28年度は、佐渡奉行所の整備基本計画を策定することで、概ね一定の成果が得られた。</p>			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。